

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新村の宝を掘り起こそう！「新村のまつり」
事業主体 (連絡先)	新村の宝編集委員会 (事務局：48-0375)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	661,337円 (うち支援金：429,000円)

#### 事業内容

地域の宝を再発見し、地域の素晴らしさをみんなで共有する事業の一環として、「新村のまつり」を刊行しました。この事業は地域の歴史と文化に焦点を当て、これまで平成17年に「新村の石造文化財」、平成22年に「新村の土蔵」を刊行してきました。今回の「新村のまつり」は、地域に残る地域の宝として「まつり」に着目し、寺社や堂宇のまつりから地区の年中行事、祝殿や講などの同姓や氏により執り行われるまつりまで、幅広く網羅したものです。

発刊にあたっては、平成22年から5年をかけて調査してきました。多くの地域住民の方々から情報提供をいただき、地域一体となって冊子を完成させました。



【編集会議の様子】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 新村地区にある「まつり」を幅広く網羅し、冊子という目に見える形で残す作業の中で、地域の宝としての「まつり」を再認識することができた。
- ② 冊子の編纂にあたって、編集委員のみならず、多くの地域住民の方々に協力していただくことで、それぞれの立場で「まつり」という伝統文化を次代に引き継いでいく重要性を認識する機会となった。
- ③ 冊子刊行後に、読み合わせ会を2回開催し、学習の機会を設けることができた。

- ① 地域の宝「まつり」の再認識
- ② 伝統文化の継承
- ③ 冊子を活用した学習機会の創出

#### 【目標・ねらい】

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

①～③の事業効果を得ることができたが、今後は③の学習機会の創出を更に積極的に進めることで、①、②の効果をより広範に、そして深く浸透させていきたい。具体的には公民館講座への活用や、学校と連携した学校教育への活用など、様々なフィールドで学習する機会を創出し、子どもから大人まで、より幅広い世代へのアプローチを図りたい。

**※自己評価【B】**

**【理由】**  
当初予定していた一定の効果は得られたが、+αの効果を得るまでには至らず、今後の継続的な取り組みの中で模索していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある